



Bridge for the future

人と未来に架け橋を

2019年 4月1日

株式会社日本ピーエス

2019年度 入社式 社長挨拶(要旨)

入社式にあたり一言お祝いのご挨拶をさせていただきます。

新入社員の皆さん、入社おめでとうございます。ここに、17名の皆さんを迎えることが出来ましたことを本当に嬉しく思いますし、心から歓迎申し上げます。

本日は新しい元号も発表され、皆さんにとっても私たちにとっても忘れられない一日になると思います。

さて、皆さんは就職先を選ぶ際、何を求めたでしょうか。

先日、ある商社の方が、最近20歳代の社員の離職が多いと嘆いていました。離職理由で多いのは、「会社に成長を感じることが出来ない」だそうです。その方曰く、最近会社に既存の事業以外に新しく成長する事業が無いなかで、将来の為に新卒の数を減らす訳にもいかず、社員をバリバリの現場に配属できず、本社や管理系の部署に配属されると、そこでは事業の成長や自分の成長を感じることができない為に離職を考えてしまうようです。

先日の新聞でも、皆さんと同じようにこの春社会人になる学生に、就職先をどう選んだか聞いたところ「安定性」「知名度」を抑えて、最近では「成長できる環境があるか」というのが、トップや上位にくると書いてありました。

そういった意味では、当社は今「成長」を強く意識している会社です。中期ビジョンとして、“人への投資を軸として「会社の持続的成長と社員幸せ」の実現の為に基礎をつくる。”を掲げ、人材・組織・事業を柱に具体的な取り組みを行っているところです。

特に、本日から3年間の第1次中期計画の最終年のスタートをきります。例えば、新しくなったオフィスや本日からスタートする新人事制度、新しくなるユニフォーム、また奨学金返還支援制度等、どれも成長するための環境づくりを行っているところです。

研修期間、いろいろ大変なこともあるかもしれませんが、スキルを身に着けていただく環境を用意することで、きっと皆さんに社会人としても当社の社員としても成長を感じていただけたと思います。

さて、今日は皆さんが社会人としてスタートする上で1つだけお願いしたいと思います。それは、「働きがい」や「やりがい」を感じながら目的をもって働いて欲しいということです。

イソップの寓話で「3人のレンガ職人」というお話をご存知でしょうか。旅人が道を歩いているとレンガを積んでいる3人の職人に会い「ここで何をしているのですか？」と尋ねると、1人目は「レンガを積んでいるのさ」と答え、毎日の仕事が大変だと訴える。2人目は「大きな壁をつくっているのさ」と答え、でもこの仕事のおかげで家族を養っていけると、目的を生活の為と明確にしている。3人目は「歴史に残る偉大な教会をつくっているのさ」と、後世に残る事業に加わり世の中に貢献出来ていると目的がはっきりしている。同じ仕事をしているはずなのに、この3人はここまで考え方が違います。

このように、人は気持ちの持ち方で変わってきます。当社であれば橋をつくることは国土のインフラの整備に貢献していますし、皆さんもこれから働きがい、やりがいを感じていただければと思います。是非、それぞれの目的をもって取り組んでいただければと思います。

また、私はいつも言っているのですが、ここにいる17人の同期を大事にしてください。私は今でも前の会社の同期とは定期的に会っています。同じ世代、悩みは一緒です。いろいろ相談して叱咤激励しながら充実した生活を送って下さい。

これから、一緒に成長してビジョンを実現させ、新しい歴史をつくっていきましょう。どうぞ宜しくお願いします。

最後に皆さんが社会人として健康で毎日を過ごしていけることと、また益々成長されることを心から祈念してお祝いの挨拶とさせていただきます。

代表取締役社長
有馬 浩史